



# 彩の国環境大学修了生の会 主催 2015年度 公開講演会のご案内

彩の国環境大学修了生の会では、下記日時に公開講演会を開催いたします。会員以外の一般参加者を大歓迎いたします。多数のご来場をお待ちしております。

- 1.日時 2015年11月21日(土) 13時30分～16時50分 (受付 13:00～)
- 2.場所 With You さいたま 視聴覚室 JRさいたま新都心駅徒歩5分
- 3.主催 彩の国環境大学修了生の会 後援：埼玉県環境科学国際センター
- 4.次第

## 講演Ⅰ 「バイオマス・ショア構想\* (エネルギーと新産業創生)」

東京大学生物生産工学研究センター 特任准教授 倉橋 みどり氏

### ●プロフィール

1960年築地生まれ 明治大学卒業、東京大学大学院博士課程修了、農学博士。  
ライオン株式会社勤務を経て、専業主婦業へ。ある日一念発起し、2012年、東京大学内に「藻と深層水によるエネルギーと新産業創生」寄付研究部門を設立。

●専門：応用微細藻類学、海洋細菌の分子系統解析、サステイナブル社会研究

### ●内容概要

新エネルギーの普及にはプラス経済収支が重要で、同時に意味のある量の二酸化炭素削減を達成する必要があります。そこで低温性、富栄養塩類性、清浄性という特徴をもった海洋深層水を活用して、実用化に取り組んでいます。現代社会に喫緊の課題とは何か、また実現可能性の高い解決方法はあるのか？皆で考えてみましょう。

\*バイオマス・ショア構想：海の光合成生物である植物プランクトン（微細藻類）を利用して、沙漠の地にエネルギー産業、発酵産業、陸上養殖産業、植物工場コンビナート、藻類産業などを集約させる構想。

## 講演Ⅱ 「身近な環境・土って何だろう -2015年は国連が定めた国際土壌年-」

埼玉県立川の博物館 学芸員 森 圭子氏

### ●プロフィール

1973年大阪生まれ 英国ランカスター大学卒業、京都大学大学院博士課程修了  
農学博士、2009年～埼玉県立川の博物館で学芸員として勤務

### ●内容概要

土壌は農業や生態系の基本、また食糧安全保障の基盤としてなくてはならない要の存在であり、かつ世界の諸問題を解決する可能性をもつという認識から、国連は2015年を国際土壌年と決めました。平均すると地球上の陸地を覆う土の深さは20cmほどですが、この膜のようにうすい土壌が植物を育み、ひいては陸域の生き物の命を支えています。そのような土は1cmできるのに100年という試算もあります。土はどのようにして出来るのか、どのような土があるのでしょうか。土を通して地球環境、生態系、人間社会の関わりを考えてみましょう。

- 5.入場料 無料・・・会場スペースは十分有ります 急な参加でもOKです
- 6.申込先 :原則は裏面の「参加申込書」ですが、当日の講演会場受付での申込みもOKです

[koba3286mk@jcom.home.ne.jp](mailto:koba3286mk@jcom.home.ne.jp) tel 049-261-0168 小林 光春  
[amemiya@pastel.ocn.ne.jp](mailto:amemiya@pastel.ocn.ne.jp) tel 048-548-4737 雨宮 昌夫

# 2015 環境大学修了生の会 公開講演会参加申し込み書

FAX 049-261-0168 小林光春

受付番号			
所属団体・法人名			
修了生の会・会員	会員 NO		
所在地・住所			
電話番号			
E-mail アドレス	氏名		
	部署・役職		
		(フリガナ)	
		.....	
		(フリガナ)	
		.....	
		(フリガナ)	
		.....	



**With You さいたま**  
 ～埼玉県男女共同参画推進センター～  
 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-2  
 Tel 048-601-3111